

# 子宝通信

11月号

発行責任・認可保育所すこやか園  
福祉活動センターよこび

## 子育て相談室

石井哲夫  
子どもの生活研究所所長



### 『爪かみをする我が子を叱ってしまう私』

#### 質問

私の娘は4歳になります。幼稚園に通っていますが、この頃爪かみを頻繁にするようになりました。幼稚園では、運動会が終わり、展覧会に向けて作品を作っているようです。私が見つからないところで頑張りすぎているのでしょうか？

爪かみをしている姿を見ると、ついつい「汚いでしょ、やめなさい。」と強く言ってしまう。言われたその時は、ハッとした顔をしてすぐに止めますが、その後はまた爪かみをしています。テレビを見ている時や、手持ち無沙汰になる時に爪かみをしているように思えます。「やめなさい。」と言ってもやめられないとは思いつつも、強い口調で止めてしまいます。どんな風に接したらいいのでしょうか？

#### 答え

遠い昔、私も爪をかんでいました。親に叱られないように、上手に爪をかんでいました。確かに汚い話ですし、大人の感覚からいうとどんな病気が起きるかも知れないと、心配になるわけです。心配して叱っていくうちに我が子が憎らしい存在になり、汚く見えるようになったらおしまいでしょう。注意をしていくのならば、優しく注意をしていきましょう。客観的にみれば、あなたが我が子の爪の長いときに切ってあげる機会を逃したということも、その原因になっているのかもしれないですね。子どもの身体をよく見守って、気にしているのであるなら、こまめに切ってあげると良いと思います。爪を切ることで、親子が向かい合い交流するなごやかなひとときを大切にしたいものです。これからでも遅くはありませんから、あなたが優しい爪切り役になっていきましょう。

子どもの爪かみは神経質な子どもの癖と考えられています。手持ち無沙汰の時に、じっとしていられない子どもが、気持ちを爪かみという自分の身体を使って出来る暇つぶしという一時的の行為です。気にしないでいてください。あなたには子どもと接している時間が少なくなっていると思います。幼稚園で頑張っていることを原因にもしているようですが、幼稚園では子どもたちの中で気が紛れるどころか、忙しく追い立てられるように暮らしているのです。幼稚園では爪かみをする時間がないし、人目も多いので、注意も上手にしてもらっています。

我が子に出来てしまったこの爪かみという癖を叱って取り上げるのも良いですが、代わりにお子さんは、別の癖を作ると思います。些細な癖を毛嫌いしないで、なぜ爪かみをやめてもらいたいのか、親の気持ちをきちんと話してみたらどうでしょうか。もっと多くお子さんと関わりを持つようになったら、上手に困る癖も直していけると思います。

親のこだわりを招いている子どもの癖は、子どもにとって親という存在をマイナスにするものとなりやすいということを知っていただければ、注意もほどほど、子どもへの見方も穏やかになるでしょう。私も母にかくれて爪をかんでいました。私の爪かみもそんなに長くなくやがて衛生知識が身についてなくなりました。